

明治大学 vs 中央大学

5月18日(日)
11:30K.O.
味スタ西

開幕からやや元気がなかった明大だが、前節は筑波大に勝って3連勝。ようやくエンジンがかかってきた。

「ここ最近対戦してきた相手と筑波大はサッカーが少し違うので、そこを意識した。守備面ではラインをしっかり作って、飛び込まないことや焦らないことを心掛けた。じっくり構えながらも、確実に取れるところでは点を取ることをコンセプトに戦えた。早い時間帯に点を取り自分たちのリズムに持ち込めた」(栗田大輔助監督)

後半4分にオウンゴールから失点してしまったものの、明大らしいしっかりとした守備を徹底できた。

「ドリブルなどでボールを細かく動かされて侵入されたときに、単に下がってしまう場面があった。一人は必ずボールについていくということを徹底しないとイケない」(栗田助監督)

優勝を狙うためにはさらなる徹底が必要だ。

苦しい戦いが続いている中大。前節の東国大戦も試合を優位に進めながら、ゴールを奪うことができずに0-1の敗戦となった。

「攻撃のところでもっと質を上げていかなければいけない。フィニッシュに至るまでの組み立てのところもそうだし、個人のところの打開も必要になってくる」(白須

真介監督)

シュートを決めきるとい部分はもちろんだが、ゴール前でチャンスになったときに前に仕掛ける枚数が少なかったのも気になる点だ。

「サイドに人が入りすぎてしまったり、効果的でない場面もあった」(白須監督)

ただ、試合全体としては手応えもあるし、やろうとしていることは問題ない。結果に結びつけるだけだ。

警告3回：橋本龍馬(中大)

昨年の対戦：前期/明大1-3中大、後期/明大3-1中大

明大		中大	
6. 高橋	8. 石原	11. 古橋	39. 鴨池
13. 小池	11. 藤本	37. 矢島	5. 岡崎
	17. 小谷		25. 三島
1. 三浦			1. 前田
	7. 差波		20. 橋本
3. 山越	9. 矢島	10. 砂川	3. 小出
2. 室屋	27. 瀬川	35. 藤橋	15. 縣

早稲田大学 vs 国士舘大学

5月18日(日)
13:50K.O.
味スタ西

前期リーグ終盤に入って、早大に元気がない。前節の流経大戦も1-1の引き分けに終わり、4位に後退。

「昨季から流経大戦は悔しい思いをしているので、どうしても勝ちたかった。残念な結果だった」(古賀聡監督)

後半11分に退場者を出し、数的不利だったことを考えれば、引き分けも御の字だが、

「10人になってからようやく火が付き、自分たちの運動量の多さや球際の強さなどアグレッシブなプレーができた」(古賀監督)

というように、問題点は数的不利になる前にある。

「前半にもっとアグレッシブに戦えたと思う。試合の立ち上がりから、大胆に勇気を持って挑戦していかなければならないとあらためて感じた」(古賀監督)

負けられないプレッシャーがマイナス面に働いているだけに、しっかりと修正したい。

専大を上位から一気に引きずりおろすチャンスだった国士大だが、前節のゲームは0-2の完封負け。

「前半は合格点。後半の途中まではプランどおりだった」(細田三二監督)

というように、試合内容を見れば決して悪くはなかったが、そこで勝ちきれないのが今年の問題点。

「前半の失点がどこか選手にとって負担になったのだと思う。集中力をなくしたときに、セットプレーで失点してしまった。1点の重みを感じたと思う」(細田監督)

前半34分にセットプレーから失点したのが重くのしかかってしまった。なかなか上位に進出できないが、

「まず前半の45分をしっかりと戦えるようにすること。自分たちの形を作って得点できたらいいと思う。前期の残り3節、しっかりとやらないといけない」(細田監督)

出場停止：海野洋介(早大)

昨年の対戦：前期/早大2-1国士大、後期/早大2-2国士大

早大		国士大	
20. 平澤	14. 堀田	34. 渡辺	7. 橘
3. 田中進	15. 上形	16. 木下	5. 仲島
	37. 佐藤		38. 平野
1. 松澤			30. 大谷
	6. 近藤洋		8. 松本
2. 奥山	9. 宮本	11. 平松	3. 福田
22. 新井	7. 近藤貴	10. 進藤	12. 藤寄

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2014 第88回 関東大学サッカーリーグ戦

OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.26-NO.9 Division1



編集：加茂郁実 発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

専大が首位に返り咲き!

厳しいゴールデンウィークの戦いを終えた各チーム。連戦最後の試合となった第8節を簡単に振り返ってみよう。
7節で今季初めて首位から陥落した専大は、国士大とのゲーム。前半34分、後半42分とゴールを挙げて2-0で国士大を下し、あっさり首位を奪還した。国士大は思うように勝点を伸ばせず7位と、浮上のキッカケをつかめない。
7節で初めて首位に立った順大だが、慶大とのゲームは0-1の敗戦。わずか1節で首位から陥落した。慶大は粘りの守備が戻ってきた。
徐々に力を発揮しはじめた明大と、まだ白星がない筑波大の一戦は、明大が前半3分の先制点を皮切りに3ゴール。筑波大も後半4分に何とか1点を奪ったが、明大が3-1で筑波大を下して勝点を16に伸ばした。筑波大は最下位脱出ならず。
早大 vs 流経大は後半5分に流経大が先制点を奪ったが、15分に早大が同点に追いつく展開。早大は後半11分に退場選手を出してしまい、数的不利な状況での戦いを余儀なくされたが、攻められながらもなんとか耐えて勝点1をゲットした。流経大はチャンスを逃してしまっただけで、できれば首位から勝点6以内で折り返したいところ。4連勝の駒大のように、ここから一気に力を発揮するチームが現れるのか!? 注目の試合が続く。

得点ランキング	
前澤 甲気(専大)	7点
山根 視来(桐蔭大)	6点
佐野 翼(順大)	5点
近藤 貴司(早大)	4点
北出 雄星(専大)	4点
藤本 佳希(明大)	4点

アシストランキング	
北出 雄星(専大)	5アシスト
以下3アシスト7名	

JR東日本カップ 2014 [第88回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	順大	明大	早大	慶大	駒大	国士大	流経大	東国大	中大	桐蔭大	筑波大	試合数	勝	分	敗	得点	失点	得失点差	勝点
1	専大		1●2	5月24日	6月15日	2△2	6○0	2○0	2○1	2○0	4○2	5○2	5月17日	8	6	1	1	24	9	15	19
2	順大	2○1		0△0	0△0	0●1	5月17日	2○1	3○1	5月24日	6月15日	4○1	2○0	8	5	2	1	13	5	8	17
3	明大	川口	0△0		2○1	0●2	2○0	6月14日	0●1	1○0	5月18日	4○1	3○1	8	5	1	2	12	6	6	16
4	早大	味フィ西	0△0	1●2		2○0	3○1	5月18日	1△1	2○0	2○1	0△0	5月25日	8	4	3	1	11	5	6	15
5	慶大	2△2	1○0	2○0	0●2		5月24日	0△0	5月18日	0●2	2○1	6月15日	1○0	8	4	2	2	8	7	1	14
6	駒大	0●6	ゼットエー	0●2	1●3	たつこの		2△2	3○0	6月15日	2○1	3○2	4○3	8	4	1	3	15	19	-4	13
7	国士大	0●2	1●2	味フィ西	味スタ西	0△0	2△2		2○1	1△1	5月24日	1○0	3○0	8	3	3	2	10	8	2	12
8	流経大	1●2	1●3	1○0	1△1	たつこの	0●3	1●2		4○3	1○0	5月24日	6月14日	8	3	1	4	10	14	-4	10
9	東国大	0●2	千葉東総	0●1	0●2	2○0	古河	1△1	3●4		1○0	5月17日	1△1	8	2	2	4	8	11	-3	8
10	中大	2●4	味フィ西	味スタ西	1●2	1●2	1●2	川口	0●1	0●1		3○1	0△0	8	1	1	6	8	13	-5	4
11	桐蔭大	2●5	1●4	1●4	0△0	古河	2●3	0●1	たつこの	たつこの	1●3		3○1	8	1	1	6	10	21	-11	4
12	筑波大	たつこの	0●2	1●3	BMWス	0●1	3●4	0●3	味フィ西	1△1	0△0	1●3		8	0	2	6	6	17	-11	2

体育会学生のための

リクナビ就職エージェント

自分を超えて、進もう。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

RECRUIT

桐蔭横浜大学 vs 東京国際大学

5月17日(土)
11:30K.O.
たつこのこ

現在11位と降格圏内にいる桐蔭大。何とか勝点を重ねて残留圏内突入といきたいところだが、前節の駒大戦は2-3で競り負けてしまった。

「相手のやることはシンプルで徹底されていた。こちらとしてはそれが分かりやすかったはずなのに、3失点というのは残念」（八城修監督）

3失点中、2点はコーナーキックとスローインからのもので修正が急務だ。一方、2ゴールと攻撃面では手応えもある。

「収穫は点の取り方。得点する選手たちも好調なのはいい要因」（八城監督）

勝点到結びつかない試合も多いが得点数は増えてきただけに、勝点3を積み重ねていくまであと一歩だ。

「みんな必死に戦っているとは思いますが、少しの余裕やアイデアの部分が足りない。ただ頑張ることばかりで、自信が少し足りないと感じた」（八城監督）

新しい桐蔭大を生み出していきたい。

一方、こちらも調子が上がってきた東国大。6節で初勝利を挙げると、7節では敗れたものの、前節の中大戦も苦しみながら1-0の勝利を飾った。

試合は決して自分たちのリズムではなく、相手に決定

的な場面を多く作られたが、そこでしっかりと守りきったのが大きかった。そして、そのまま守るだけでなく、後半のワンチャンスを決めて勝ちきった。

守備から攻撃に移ったときに、一気にゴール前までボールを運ぶ力を持っているし、それを得点に結びつけているだけに、今後もこれを続けていきたいところ。やや攻められすぎの傾向にあるだけに、もう少し自分たちの時間を増やしたい。

出場停止:福島翔太郎(桐蔭大) 警告3回:福島遼(東国大)
昨年のリーグ戦での対戦はなし

桐蔭大		東国大	
18. 佐々木	7. 山根	22. 菅原	29. 新聞
33. 田中憧	30. 鈴木	9. 福島	15. 舩田
	12. 金子		10. 若井
21. 田中雄			1. 上平
	8. 上船		16. 森
4. 古澤	28. 石川	26. 高木	5. 鈴木
11. 石堂	8. 山崎	7. 小玉	3. 新地

順天堂大学 vs 駒澤大学

5月17日(土)
13:50K.O.
ゼットエー

前節は連戦の最終戦ということもあって、メンバーを多少入れ替えて臨んだ順大。結果は慶大相手に0-1の敗戦となった。

「0-1になるのは想定内。あのメンバーで0-2にならなかったことはよかったと思う。現状維持ではなくプラスアルファの力をつけていくことが、うちのチームにとっては重要だということを、選手たちが理解してくれたと思う」（吉村雅文監督）

守備から攻撃へとのところがスムーズにいかず、決定機も決めきれなかった。

「チームとしての力を発揮する部分が出てこなかったのは大きな反省点。そういう力を出さなければダメだと思っている」（吉村監督）

慶大の守備がしっかりとしているだけに、そこで崩し切ることができなかった。

「駒大は勢いがあるチーム。それを止めながら、いかに失点を少なくしていけるかがポイント」（吉村監督）

今年2部から1部に昇格した駒大。開幕当初は勝ちきれず苦しい戦いが続いたが、5節から連勝を重ね、前節も桐蔭大を3-2で下して4連勝。今、一番調子のいいチームだ。

「外からの攻撃を徹底したこと。まだまだ発展途上のチームだが、駒大の理念であるあきらめずに頑張ることがベースになってできてきている」（秋田浩一監督）

5節以降はみるみる間に自信をつけて、駒大らしさを発揮し、どんな接戦も勝利に結びつけている。

「2失点は残念。ディフェンスがしっかりすれば、ある程度戦えるチームになれると思っているので、チーム全体がレベルアップするにはそこをちゃんとしなければならぬと思う」（秋田監督）

昨年のリーグ戦での対戦はなし

順大		駒大	
2. 友澤	26. 原田	11. 小牧	13. 大木
4. 谷奥			4. 平尾
	24. 室伏		25. 唐木沢
30. 今川	6. 長谷川涼	20. 佐野	9. 小牟田
	23. 新里		10. 板倉
5. 新井			5. 伊藤
			3. 川岸
29. 坂	17. 小島	19. 吉岡	16. 柳川

専修大学 vs 筑波大学

5月17日(土)
13:50K.O.
たつこのこ

7節で順大に逆転負けを喫した専大。しかも、2失点はいずれもアディショナルタイムとチームに大きなショックを与える形での敗戦となり、首位からも陥落した。そして、影響が心配された前節の国士大戦。内容だけを見れば決していいものではなかったが、しっかりと2-0で下して勝点3をゲット。決して連敗しない強さを持っている。

「順大戦の負け方(1-2)がひどかった。そこをうまく切り替えて、一生懸命やった点がよかった」（源平貴久監督）

1年生を多く起用したが、そのなかでしっかりと勝ちきれたのは収穫だろう。

「次もまた層を厚くしてリーグ戦を戦っていければと思う。また新しく出る選手が増えるかもしれないので、しっかり準備してやっていきたい」（源平監督）

試合全体としてはシュート6本と、ここのところフィニッシュまで持っていく形が少ないだけに、そこを改善していきたい。

最下位に低迷している筑波大。前節の明大戦も1-3の敗戦。特に、前半はシュート2本しか放つことができず2失点。苦しい戦いになってしまった。

「力のなさを、一人ひとりがしっかりと受け止めたい。自分たちが簡単にミスをして、ボールを拾われてシュートを打たれていた。ゴール前ではしっかりとコースに体を入れるように、守るべきところでスキを作らずやり続けることが必要。ただでさえチームの流れが悪いのに、そこにスキがあるとやられてしまう。いい判断や選択ができなかった」（中山雅雄監督）

何とかキッカケになる勝利を手にしたところだ。

警告3回:車屋紳太郎(筑波大)

昨年の対戦:前期/専大2-1筑波大、後期/専大0-2筑波大

専大		筑波大	
46. 大瀬	18. 東	10. 中野嘉	8. 早川
6. 河津		9. 若杉	7. 車屋
	17. 清水		6. 片岡
1. 福島	16. 沓掛	49. 浅野	30. 有賀
	7. 北出		31. 三宅
3. 萩間		29. 中野誠	5. 西村
2. 北爪	11. 前澤	28. 北川	32. 野口

流通経済大学vs慶應義塾大学

5月18日(日)
13:50K.O.
たつこのこ

8節終了時点で8位と、優勝候補の筆頭にも挙げられた流経大が苦しんでいる。前節の早大戦も1-1の引き分けに終わった。

「相手が一人退場していたので勝ちたかったが、流経大としてはかなりよくやれたと思う。3連敗のあとだったので、勝点1でも取れてよかった」（中野雄二監督）

3連敗を脱しただけに前向きではあるが、勝ちきれないことに問題がある。

「一つのクリアミスがあったときに、全体がボールを見過ぎてしまう。もっと人やスペースをしっかりと見る余裕があれば、今日のようなシーンでも失点には至らなかった。そういうところに気をつけていたが、あの1シーンだけそうってしまった」（中野監督）

現在、首位・専大との勝点差は9ポイント。これ以上離されると優勝は厳しくなるだけに、踏ん張りどころだ。

今シーズン好調だった慶大だが、ゴールデンウィーク4連戦の中で2連敗を喫し、やや調子を落としていた。しかし、前節は首位・順大とのゲームを1-0で勝利し、慶大らしさが見えてきた。

「セカンドボールを拾おうということ話をしていた。

徐々にうちが拾えるようになり、それから裏に抜け出すことができていた。決まらなかったがいくつかチャンスが出てきて、最後に1点を取ることができた。それと、今日は0-0でもいいから無失点に抑えようといっていた。守備陣はよく集中してやっていたと思う」（須田芳正監督）

ようやく慶大らしい守備が出てきただけに、残り3試合の戦いぶりが楽しみだ。

出場停止:富田湧也(流経大) 警告3回:溝渕雄志(慶大)
昨年の対戦:前期/流経大3-1慶大、後期/流経大2-2慶大

流経大		慶大	
	2. 湯澤	20. 山田	3. 溝渕
26. 藤原			6. 望月
	12. 藤山	34. 黄	
	25. 古波津		8. 山浦
22. 坂田	5. 川崎	32. 川上	
	10. 野口		29. 浅間
		11. 富樫	7. 川田
			2. 久保
9. 田上			
	7. 森保	11. 増田	19. 井上

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想